

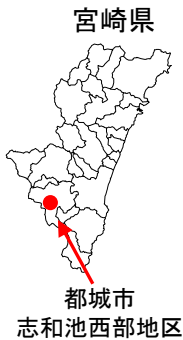
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 畜産、茶や土ものの野菜が盛んな平地農業地域
- 現耕作者の高齢化が進み、後継者未定農地や未相続農地が存在。農地の維持・保全のため受け手の確保が必要

【支援内容・背景】

- 都会からの農業移住希望者や新規就農者、農業生産法人等に対する支援を地域と関係機関が一体となり推進。
- 助成対象者は、地区内で大規模露地野菜経営を営む者であり、経営面積が年々増加する中で、長年の課題である病害対策として適期防除に取り組み、減農薬栽培を実践。
このため、地区の大規模露地野菜経営の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「農業生産法人 有限会社 ファームヤマト」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成18年 会社設立(和牛生産)
- 平成18年 経営改善計画の認定
- 平成23年 口蹄疫を機に、露地野菜専業へ変更
- 平成23年 六次産業化 認定EC事業 開始
- 平成29年 現代表取締役へ承継
- 令和3年 現社屋へ移転
- 新選果場、農産物加工場操業開始

《事業活用の背景》

○ 経営面積の拡大に伴い、甘藷の基腐病や紋羽病、連作障害等が多発。その対策として化学肥料から有機肥料への転換を行うとともに適期防除を行うために必要な機械の導入が急務。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 売上高 367百万円
- 経営面積 45.6ha
- 環境配慮の取組
(化学肥料の使用量)
170.2kg/10a

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
事業費 12,200千円(国費5,545千円)
- マニユアスプレッダー 1台
事業費 2,886千円(国費1,312千円)
- ブームスプレーヤー 1台
事業費 5,654千円(国費2,570千円)
- 地下休閒耕プラウ 1台
事業費 3,850千円(国費1,750千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 620百万 **(169%)**
- 経営面積 52.5ha **(115%)**
- 環境配慮の取組
(化学肥料の使用)
147.7kg/10a **(▲13%)**

事業の
効果

《対象者》機械導入により経営面積を拡大しながら、天地返しによる病害抑制や堆肥活用による化学肥料の低減、さらに効率的かつ効果的な防除を実現。収量増大とともに売上高の大幅な増加を達成。
《地区》大規模経営体に農地の集積・集約が図られ、地区内の農地の保全と病害対策の取組モデルが確立。